

アメリカ環境保護庁によるクロロプレンモノマー毒性評価の見直しについて（第3報） ～DPEが新たな毒性評価モデルを提出～

当社米国子会社のデンカ・パフォーマンス・エラストマー社（DPE）は、7月15日にアメリカ環境保護庁（EPA）に対し、クロロプレンモノマーへの暴露による発がんリスクの見直しを可能にする新たな毒性評価モデルを含む、クロロプレンモノマーの毒性評価に関する正式な「見直し要請（Request for Correction/RfC）」を提出しました。RfCはEPAが最善の科学に基づいて判断を下すことを目的に策定した科学的な検証プロセスです。

この新しいモデルは、生理学的薬物動態（PBPK）モデルと呼ばれ、人体への健康リスク評価に関するEPAおよび米国科学アカデミーの推奨事項に則っています。EPAはクロロプレンモノマーによる発がんリスクの評価を2010年に実施しています。EPAの統合リスク情報システム（IRIS）に登録されているこの評価は、1系統の雌のマウスに対する影響にのみ基づいていました。新モデルの結果は、ピッツバーグ大学の研究者らが最近更新したクロロプレン製造工場の勤務者に関する数十年にわたる研究や、ルイジアナ州の発がん率についてまとめたルイジアナ州腫瘍統計局の統計データなどの、クロロプレンモノマーに関する既存の疫学的研究と一致しています。そしていずれも、セント・ジョン・ザ・バプティスト郡にあるDPEの製造工場から排出されるクロロプレンモノマーによって、同工場の勤務者や近隣住民の発がんリスクが高まってはいないことを示唆しています。

本PBPKモデルの評価結果は、2020年1月に査読付き科学雑誌「Inhalation Toxicology」に掲載されました。以下のサイトから入手できます。

<https://www.tandfonline.com/doi/full/10.1080/08958378.2020.1715513>

本PBPKモデルとクロロプレンモノマーに関する疫学的研究について考察したDPEのRfCは、以下EPAのサイトから入手できます。

<https://www.epa.gov/quality/rfc-21005-chloroprene>

以 上

【参考：本発表に関する過去プレスリリース（当社ホームページ）】

- 2021年3月2日「アメリカ環境保護庁によるクロロブレンモノマー毒性評価の見直しについて（続報）」
https://www.denka.co.jp/storage/news/pdf/829/20210302_denka_dpe.pdf
- 2020年12月18日「米国クロロブレンモノマー製造従事者に関する最新の疫学的研究結果について」
https://www.denka.co.jp/storage/news/pdf/799/20201217_denka_dpe.pdf
- 2020年8月7日「アメリカ環境保護庁によるクロロブレンモノマー毒性評価見直しが査読プロセスに移行」
https://www.denka.co.jp/storage/news/pdf/751/20200807_denka_dpe.pdf
- 2020年6月8日「DPEの自発的な取り組みによる85%の排出削減達成をLDEQが承認（参考和訳）」
https://www.denka.co.jp/storage/news/pdf/736/20200608_denka_dpe.pdf
- 2020年2月14日「当社米国子会社に対する訴訟の提起に関するお知らせ」
https://www.denka.co.jp/storage/news/pdf/695/20200214_denka_dpe.pdf
- 2020年2月14日「アメリカ環境保護庁におけるクロロブレンモノマー毒性評価の見直しについて」
https://www.denka.co.jp/storage/news/pdf/696/20200214_denka_statement.pdf
- 2019年6月19日「当社米国子会社における環境負荷低減の取り組みについて」
https://www.denka.co.jp/storage/news/pdf/621/20190619_statement_ip.pdf

【報道関係者からのお問い合わせ先】

コーポレートコミュニケーション部 電話：03-5290-5511